

125ccクラスのロードスポーツモデルは、スポーツライディングのエントリーモデルとしての重要な役割があります。専用の車体とエンジン技術で開発されたスポーツ指向の強いモデルであれば、よりライディングの楽しさを感じることができ、大型モデルへのステップアップを目指すライダーにとっては大きな喜びにつながります。

従来モデルのCBR125Rは、スポーツライディングのスキル向上に最適なモーターサイクルでした。そのコンパクトなサイズ、市街地での取り回しやすさや軽量さ、動力性能が高く評価されていました。一方、世界的な観点からフルサイズの125ccスポーツモデルへの要望が高まってきました。

CBR125Rは理想的な“最初のスポーツモデル”を目指して開発。洗練された軽量コンパクトな車体と、CBRファミリーとしての高いパフォーマンスを備え、世界中の若いライダーの共感を得られるようパッケージングしたグローバルモデルです。まさに新世代ライダーのための“最初のスポーツモデル”として、操る楽しさを提供してまいりたいと考えています。

開発のねらいは至ってシンプルです。それは、より大型なマシンの外観と同じフィールを持った高品質な125ccスポーツモデルをつくることです。新しいCBR125Rは前モデルのユーザーフレンドリーなハンドリング特性を踏襲しながら、扱いやすくパワフルな単気筒エンジンを搭載し、現代の若いライダーの要求する洗練されたスタイルとフルサイズのプロポーションで包み込みました。また、ワイドなホイールとタイヤサイズを採用したことで、より大型のモーターサイクルのフィールに近いハンドリングを目指しました。さらに、最新のPGM-FI*と触媒技術を採用したことで、燃費性能や環境性能の向上を果たしています。

*PGM-FIは、Hondaの登録商標です。

